

関西学院大学に対する相互評価結果ならびに認証評価結果

全学的な視点

【評価項目】 14 図書・電子媒体等

総 評

三 長所の伸張と問題点の改善に向けての取り組み

10 図書・電子媒体等

学生への便宜を図るために、単に座席数の確保充足、開館時間の延長等にとどまらず、これに加え、「全面開架制」というシステムがとられていて、図書館の価値を一層高めている。また、学生閲覧室座席数は十分であり、グループ閲覧室等の利用形態にあった閲覧座席や100座席を有する図書館ホールが整備されている。

さらに、パソコンを利用して電子情報にもアクセスできるようになっている。所蔵の図書資料が多い点、学生の図書館利用が比較的多く、満足度が高い点から、図書・電子媒体等に関する目標がおよそ達成されていると評価できる。

ただし、2004（平成16）年の「大学図書館利用実態調査」アンケートの結果、館内設置の多機能パソコンを利用しようと思ったときに利用できなかった学生が、6割を占めているとのことであり、改善の必要があろう。